

JVCケンウッド 企業情報

社名 / 設立	JVCケンウッド株式会社 (英語名 JVCKENWOOD Corporation) / 2008年10月1日
主ビジネス	<p>下記3事業の運営・管理 モビリティ&テレマティクスサービス分野 (M&T分野) パブリックサービス分野 (PS分野) メディアサービス分野 (MS分野)</p>  <p>Mobility & Telematics Service Sector Public Service Sector Media Service Sector</p>
代表取締役	<p>社長執行役員 最高経営責任者 江口 祥一郎</p>  <p>江口</p>
本社・横浜事業所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地 代表電話：045-444-5500
企業ビジョン	感動と安心を世界の人々へ
経営方針	<p>テーマ：変革と成長</p> <ul style="list-style-type: none">・ものづくりを通じた新たな価値の創造・変化ある未来に立ち向かう企業風土の構築・イノベーションを実現する人材の育成と組織能力の強化

JVCケンウッド 事業内容

主なビジネス



当社は、「モビリティ&テレマティクスサービス」「パブリックサービス」「メディアサービス」という3つの事業分野において、企業ビジョンである「感動と安心を世界の人々へ」を実現する製品・サービス、ソリューションの提供を目指しています。

JVC

KENWOOD

Victor

マルチブランド戦略

コーポレートの傘下に複数のプロダクトブランドを有する「マルチブランド戦略」を推進します。お客さまから長く親しまれている3つのプロダクトブランド「KENWOOD」「JVC」「Victor」は、AIやIoTが最先端技術となった今日においても、時代の変化に柔軟に対応しながら、お客さまの期待に応え、またその期待を超えるような製品やサービスを展開します。ものづくりを通じて3ブランドはさらに進化を続けます。

モビリティ&テレマティクスサービス分野

モビリティ&テレマティクスサービス分野は、カーナビゲーションやドライブレコーダーなどを自動車メーカー/ディーラーを通じてお客さまに提供する「OEM事業」と、量販店や代理店を通じてお客さまに提供する「アフターマーケット事業」を展開しています。



また、業界でトップクラスの実績を誇るドライブレコーダーに通信機能を搭載することで損害保険会社向けなどの「テレマティクスサービス事業」を展開。さらには「IoTプラットフォーム事業」としてデータサービスビジネスへと事業領域の拡張を図ることで、より安心・安全なモビリティライフに寄与するソリューションサービスの提供を目指します。

メディアサービス分野

メディアサービス分野は、在宅時間の増加による巣ごもり需要や、自然災害やパンデミックに対する意識の高まりに対応した製品を幅広く展開するとともに、5Gから6G時代を見据えた次世代光通信関連事業の拡大を目指しています。

また、数多くの人気アーティストを抱える「エンタテインメント事業」では、パッケージ&配信音源ビジネスのシェア拡大と非音源ビジネスの強化を図っています。



パブリックサービス分野

パブリックサービス分野は、「無線システム事業」「業務用システム事業」において、業務用無線システムやブロードバンド無線ソリューション、セキュリティカメラシステム、業務用放送システム、医用画像表示モニターなどを通じて、人々の命と暮らし、安心・安全なまちづくりに寄与する製品・サービス、ソリューションを提供しています。

